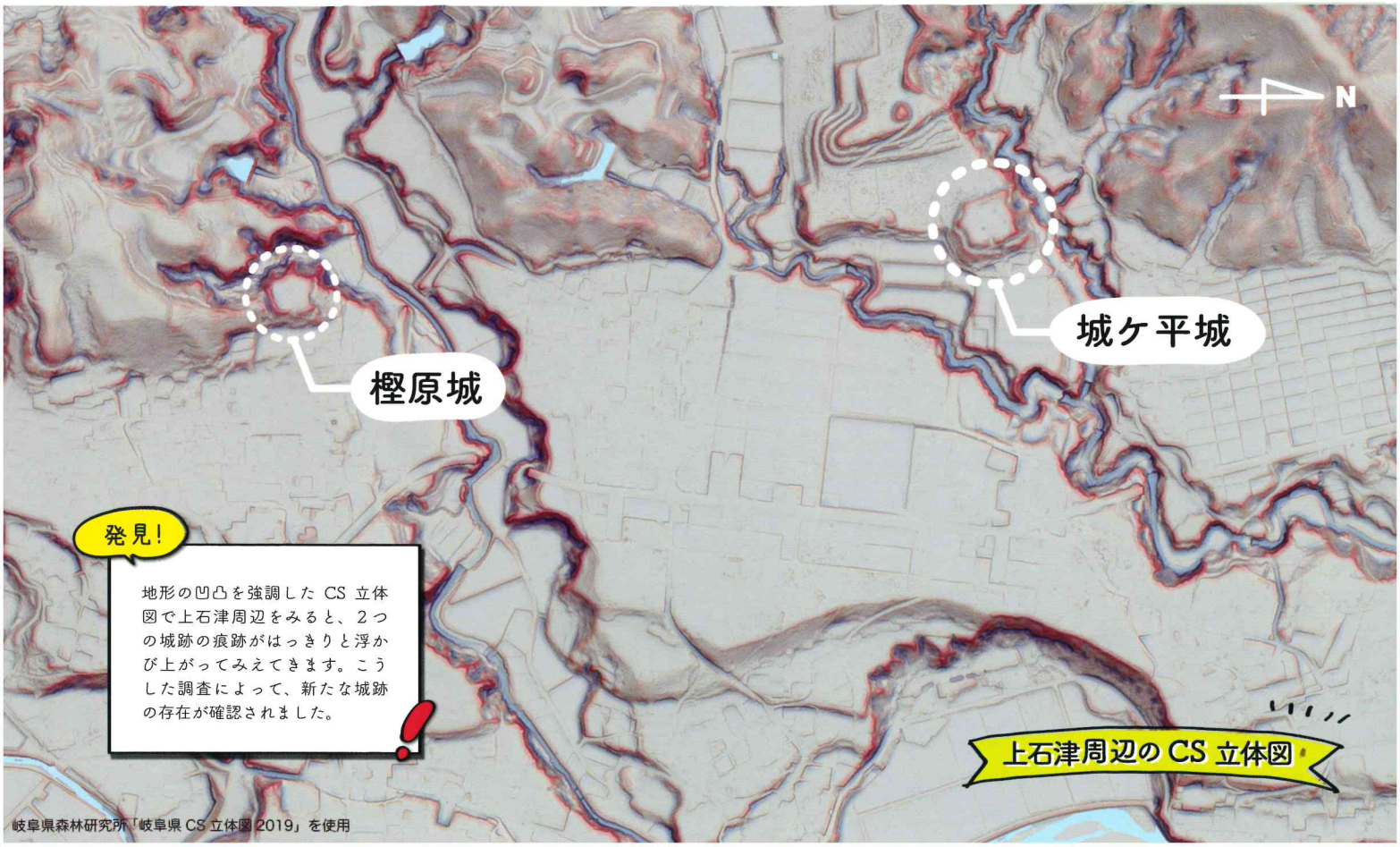
上石津の山城



発見！

地形の凹凸を強調したCS立体図で上石津周辺をみると、2つの城跡の痕跡がはっきりと浮かび上がってみえてきます。こうした調査によって、新たな城跡の存在が確認されました。

岐阜県森林研究所「岐阜県CS立体図2019」を使用

西美濃の山城

西美濃エリアは、関ケ原の戦いなど戦国時代を代表する歴史舞台ともなっており、180 ケ所近くにおよぶ中世城館跡が確認されています。大垣市上石津町にも城ケ平（上石津町三ツ里・宮）、城屋敷（上石津町上多良）、時城山（上石津町下山）など「城」の名が付く地名が残っています。

CHECK!

西美濃の代表的な山城　菩提山城（垂井町）・玉城（関ケ原町）・揖斐城（揖斐川町）・小島城（旧春日村）・南宮山陣城（垂井町）・松尾山城（関ケ原町）

城ケ平城（じょうがだいらじょう）

城ケ平では山城があったことが以前から指摘されていましたが、近年の調査によってその存在が明らかとなってきました。中世城郭の遺構が良好に残っていることが確認され、遺構の形状などから戦国時代後半の城跡であると考えられています。

確認された城郭は伝承や地誌類などにも城主名はあらわれず、「多羅城」との関係性は不明です。しかし、堀切や土塁・虎口などの遺構が明瞭に残る城郭跡であることは確実で、上石津の戦国時代の歴史を伝える貴重な遺産の一つといえるでしょう。

写真1

北西から虎口を眺める

樫原城（かしばらじょう）

樫原の津島神社背後の尾根先端に位置する城跡です。単郭方形プランの構造で、尾根筋が続く南辺には高さ 3m におよぶ巨大な土塁と、その外側には堀切が構えられ、尾根筋を完全に遮断しています。北辺にも堀切を設け、山麓からの攻撃に備えています。東辺に凹状の区画があり、ここが虎口であったと見られます。

小規模な城ですが、尾根筋に対する防御は徹底しており、戦国時代後半に築かれたものと考えられます。

写真2

東から土塁を眺める

城を攻略！　縄張り図を持って城跡を見学してみよう！

城ケ平城 縄張り図

0　20m

N

虎口 こぐち

東面の中央に、
城の出入り口である
虎口が残っています。
方形に窪んでおり、
枡形虎口と考えられます。

堀切 ほりきり

西に続く尾根と遮断するための
堀切の痕跡がわずかに残ります。
北面は自然の急斜面を利用して
切岸としています。

櫓台 やぐらだい

虎口の南側には方形の土壇
があり、櫓台であったと
考えられます。

写真1

土塁 どるい

敵の侵入を防ぐために、
曲輪を囲むようにめぐらされた
土の堤防を土塁といいます。
南面をのぞいて、
良好に残っています。

横堀 よこぼり

曲輪の周囲に、斜面を回りこ
むように設けられた堀のこと。
南面と東面の中腹辺りに
めぐらされています。

樫原城 縄張り図

0　20m

N

149.8

虎口？

堀切

土塁

写真2

縄張り図とは…

CHECK!

現存する遺構を観察し、
城の構造を示した図面のこと。

注意!

城ケ平城跡・樫原城跡は私有地です。見学に際しては、服装・装備・安全対策などは、各自の責任において行ってください。火気の使用や焚火、土砂草木などの採取は禁止します。ゴミの持ち帰りなど見学マナーを遵守してください。

上石津周辺文化財マップ

大垣市上石津町は、養老山地と鈴鹿山脈の山懐に抱かれ豊かな自然に囲まれた里山エリアです。関ケ原から伊勢へと繋がる伊勢西街道が南北に貫き古くから交通の要所となり、中・近世には桑原家や高木家を中心として栄え、史跡も数多く残っています。

300m

正林寺
伊勢西街道
西高木家陣屋跡
旗本東高木家土蔵
上石津郷土資料館
上石津町宮
大神神社
城ケ平城
観音寺経塚
北高木家墓跡群
観音寺跡
本堂寺
上石津町三ツ里
島津豊久の墓所
樫原城
瑠璃光寺

上石津郷土資料館

西高木家陣屋跡に位置し、上石津の歴史・文化・自然を紹介する資料館です。高木家関係の史料ほか、考古遺物や自然資料も数多く展示されています。

☎ 0584-45-3639 開 9時30分～17時
休 火曜日・祝日の翌日・12月29日～1月3日
料 100円（18歳未満は無料）

国史跡 旗本西高木家陣屋跡

高木家は関ケ原の戦いの功により、時・多良を拝領し、幕末までこの地を治めました。「水奉行」として木曽三川の治水にも尽力しています。陣屋跡には、石垣や主屋・墓所等が残されています。

大神（おおみわ）神社

「延喜式神明帳」にも記載される式内社で、境内には巨樹古木も多く、社叢は県天然記念物に指定されています。

島津豊久の墓所

関ケ原の戦いで敗戦が濃厚となった西軍の島津軍は上石津周辺で小部隊が東軍を食い止め、本隊は西へ退却をしました。その中で落命した島津豊久の墓とされます。

観音寺経塚

文治５年（1189）観音寺の慶覚という僧が、戦死した人々の耳を埋め、供養のために法華経の一部を一字一石に書写してこの塚に埋めたとの伝承が残ります。

伊勢西街道

関ケ原から伊勢へと至る街道で、上石津町牧田で伊勢東街道と合流します。大神神社周辺は往時の雰囲気がとても良く残っています。

発行年月：令和２年７月　発行：大垣市教育委員会
編集：NPO 法人ニワ里ねっと　写真：中野耕司

国土地理院 GSI Maps を使用